

国内経済要録

◇外貨準備率の引下げ

最近における本邦外国為替公認銀行の海外短資取入れ動向などにかんがみ、政府は、外貨準備金制度上の準備率を一律15%に引き下げる(従来25%、ただし大蔵大臣名義預り金については20%)こととし、4月1日から実施した。

◇政府関係 3 中小金融機関の貸出金利引下げ

中小企業金融公庫、国民金融公庫および商工組合中央金庫は、このほど政府の要請に基づき、貸出金利を昨年9月に引き続きそれぞれ次のとおり引き下げ、4月1日から実施した。

(新利率)(引下げ幅)

- (1) 中小企業金融公庫
貸付基準利率.....年 8.4% (年 0.3%)
- (2) 国民金融公庫
普通貸付基準利率.....年 8.4% (年 0.3%)
- (3) 商工組合中央金庫
一般貸出(実行利率)
 - イ. 期間1年未満の貸付(組合貸付および手形割引)

(組合貸付)	日歩 2.3 銭(日歩 5 毛)
(構成員貸付)	〃 2.35 銭(〃)
 - ロ. 期間1年以上の貸付(組合貸付)

(組合貸付)	年 8.6 % (年 0.3 %)
(構成員貸付)	〃 8.8 % (〃 0.2 %)

ハ. 当座貸越 (組合貸付 日歩 2.45 銭(日歩 5 毛)
構成員貸付 〃 2.5 銭(〃))

◇米ドル建輸入ユーザンス金利の引上げ

本邦側甲種外国為替公認銀行は、米国における一流銀行引受手形(BA)レートが、3月10日から1/8%引き上げられ、5/8%(90日物)となったのに伴い、米ドル建輸入ユーザンス金利を次のとおり一律、年利1/8%引き上げ、3月14日から実施した。

	一 般 (年利)	サービ ス (年利)
3 か月物1/8%つき輸入ユーザンス金利	7.5 %以上	7.25 %以上
〃 1/8%なし 〃	7.75 %以上	7.375%以上
4 か月物は3 か月物の各1/8%高とする。		

◇米ドル建現地貸金利の引上げ

本邦側甲種外国為替公認銀行は、最近の米国短期市中金利の上昇傾向にかんがみ、米ドル建現地貸金利を年0.375%引き上げ、一般年7.0%以上、サービス年6.75%以上とし、3月24日以降実施した。

◇本行、資金運用部から利付金融債を買入れ

本行は、資金運用部からその保有利付金融債を買入れることとし、3月29日に1,606億円、4月11日291億円の買入れを実施した。この資金は、資金運用部における国債引受け(3月引受額は900億円)などに充当される。